

# 【日本医科大学附属病院 がん化学療法レジメン】

※無断転載禁止

## レジメン番号： BRST-141

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
乳がん (TNBC)	Pembrolizumab +EC	21日間	4コース	<input type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input checked="" type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	〈KEYNOTE-522〉 N Engl J Med 2020;382:810-821 N Engl J Med 2022;386:556-567

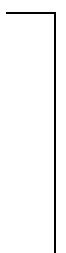
	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
②	キイトルーダ 生理食塩液	200mg 50mL	点滴静注	30分	↓																				
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
④	デキサート アロカリス パロノセトロン	9.9mg 235mg 0.75mg/50mL	点滴静注	30分	↓																				
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
⑥	エピルビシン 生理食塩液	90mg/m <sup>2</sup> 100mL	点滴静注	15分	↓																				
⑦	エンドキサン 生理食塩液	600mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴静注	30分	↓																				
⑧	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				

### <注意事項/備考>

- ✓ Pembrolizumab : 0.2または0.22 μmのインラインフィルターを用いて投与
- ✓ EPI : 全量150mLになるように調製（全量≥150mLになる場合）
- ✓ EPI : 投与後1-2日間尿の着色（赤色）
- ✓ EPI : 総投与量900mg/m<sup>2</sup>以上で心毒性のリスク増大、既往歴を含め総投与量の確認
- ✓ EPI : 血管外漏出時はデクスラゾキサンの投与を検討
- ✓ 間質性肺炎：初期症状は息切れ、発熱、咳嗽（空咳）など。胸部X線検査やSPO2モニタリング等で定期的にモニタリングを

- ✓ 血糖上昇：口渴、多飲、多尿、倦怠感などの症状に注意。来院時には血糖の測定を
  - ✓ 大腸炎、下痢：持続する腹痛、嘔吐、下痢、血便など
  - ✓ 甲状腺機能障害：投与中は定期的にTSH、FT3、FT4などの検査を
-

:»



—